

食育啓発記事を広報に掲載しています。町内の食育活動に携わっている団体の情報交換の場とするため、食育推進委員会を設置しています。情報を共有することで、食育推進のネットワーク化を進め、事業展開の効率化を図ります。

問 児童・生徒の欠食・孤食に対して、町として行っている施策・取組と学校が行っている指導は。

答 栄養教諭、学校栄養職員が、学級担任などと連携をして、食の指導を行っています。保育園・幼稚園では「楽しくたべる子ども」に成長することを期待し、保育士・幼稚園教諭と栄養士が連携して園児の食に関する支援をしています。各家庭に「たより」を発行し、食の大切さについての啓発活動も行っています。



宮原泰子議員（あぐいくらしの会）－環境美化について－

問 保健センター前の「親水公園」は草が茂り、ゴミが散乱し、あまりにも残念な状態です。設置した経緯は。

答 昭和63年～平成元年にかけて、愛知県が護岸整備をし、町は噴水やパーゴラ、東屋などを整備しました。

問 造られた当時のきれいな状態を維持できないのはなぜか。行政だけで無理なら、団体へ声掛けしてみてもは。

答 普段の水位が低い場合、水深を確保する工事や花壇を整備しましたが、大雨のときには増水し、魚も植栽した花も下流へ流されてしまいます。飛び石にはゴミが多量に堆積し、ゴミの撤去などを毎年実施していますが、整備した当時の状態を維持するのは困難な状況です。町では参画と協働のまちづくりを推進する仕組みとして「住民税1%町民予算枠制度」をスタートさせました。想いを形にするために制度活用を検討いただき、皆様のパワーと知恵をお貸しください。



中野克子議員（町小中PTA連絡協議会）

－子育てに関わる問題への町としての対策について－

問 不登校・虐待など家庭での親の教育力・指導力を問う問題が取上げられています。保護者の中には、どのように子どもと関わっていけばよいか分からないと悩んでいる方もみえます。そのような保護者に対し、町として具体的な関わりは。

答 不登校や虐待に関する情報を定期的に収集しながら、未然防止、教職員等へ支援、研修に力をいれ、地道に取り組んでいます。保育・授業参観、行事開催など来園・来校の機会に、必要に応じて子どもの現状を伝えるとともに家庭での様子、保護者の困り感などをつかむように努めています。園・学校や保護者からの要請を受け、町関係機関が迅速に相談や支援を行っています。平成25年度版「子育て支援ガイドブック」を作成し、町内のさまざまな子育て支援について紹介、啓発を行うとともに、連携強化と情報収集で、困り感のある子どもや保護者の支援を続けていきます。



北中祥子議員（社会教育委員）－男女共同参画啓発活動について－

問 平成24年3月に男女共同参画プランを策定後、啓発活動について、これまでの取組と今後の予定は。

答 平成25年度事業として、男女共同参画週間（6月23日～29日）記事を広報に掲載、男女共同参画プランコーナーを公民館本館教育委員会事務局前に設置しました。平成26年2月には男女共同参画講演会を予定しています。

問 現在の男女共同参画プランは、平成28年までの計画が策定されていますが、平成29年以降の新プラン策定、現行プランの検証の予定は。

答 男女共同参画プラン策定委員にはかり、社会情勢・経済情勢などの変化に伴い見直し、改訂を考えています。今後も男女共同参画社会の推進に向けて啓発を進めていきます。